

一般質問通告者と質問事項

※3月上旬ごろにホームページで会議録の公開予定です。

大豆生田 春美 議員

- ① こども医療費の助成について
- ② 小中学校の熱中症対策について
- ③ 消防団員の確保について

小池 利雄 議員

- ① レセプト活用で医療費適正化の推進について
- ② 子ども安心カードの取組みについて
- ③ 雑誌スポンサー制度について

黒澤 昭治 議員

- ① AEDの設置について
- ② 小中学校における運動部活動について
- ③ 水道事業について

前野 良三 議員

- ① 平成26年度予算編成について

いて

- ② 東京オリンピック・パラリンピックのキャンペーン誘致について
- ③ 佐久山御殿山公園について

滝田 一郎 議員

- ① 米の需給調整と経営所得安定対策について
- ② 事務事業検証改善会議を踏まえた平成26年度予算編成について
- ③ 河川の護岸の災害復旧について
- ④ 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく大田原市の温室効果ガス削減について

中川 雅之 議員

- ① スポーツの推進について
- ② 野崎工業団地内（東芝前丁字路）の信号機の設置について

- ③ 観光の推進について
 - ④ 休日・夜間の予防接種の現状と本市の考えについて伺いたい
- ※④については制限時間内に質問することができませんでした。

星 雅人 議員

- ① 竜巻災害の復旧支援について
- ② 資源ごみ回収報奨金制度について
- ③ 第2期中心市街地活性化基本計画の策定について

鈴木 央 議員

- ① 大田原市火葬場について
- ② 本市の農業方針について

小野寺 尚武 議員

- ① 国際医療福祉大学医学部設置について



大 神 花塚 光明 さん

12月議会一般質問を傍聴しました。質問の方式が変わり一問一答方式も選択できるようになり、大部分の議員がこの方式で実施され、議員の質問に対し市長等執行部の応答が具体的に深まっていく過程がより分かりやすくなりました。

まず、身近で明るい質問としては「2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンペーン誘致」についてでした。国から県に

キャンブの候補地として要請があった場合、大田原市も候補地としての要望を県にしてほしいとの要望が有り、早速、相乗り対応（平成26年2月）で要請したい旨の市長の力強い答弁が有りました。市内には、ふれあいの丘等を含めた広大な土地が多く有り、キャンブ地として利用されることで、大田原市の自然豊かさを世界の若者たちにアピールでき、すばらしい事業になりますので積極的に進めていただきたいと思います。

次に関心を持った質問は救命医療機器「AED」の設置についてでした。市内の医療機器設置状況の質問に執行部の答弁は、平成17

年度より市内の学校・市役所、公共施設など138箇所に設置済みとのことでした。更に学校、グリーンパーク、運動場・野球場等の屋外に設置要

望が有りました。電気ショックは心臓が停止から3〜5分以内で対応可能とのこと。児童・学生や仕事終わりの社会人の方々が夜間も安心して運動できることを前提に考えれば、設置は急務だと思います。質問の中に、AEDが無かった為に起きた過去の事故、事例等が無かったことが残念でした。

水道事業についての質問は、「未給水地域への給水計画と工事補助金について」でしたが、現在、市内に未給水地域があることに改めて驚かされました。補助金や設備設置の検討をしたが実施は難しいとの答弁でした。水は日常生活に最も重要なインフラの一つであり、改めて早急に検討すべきと思いました。

議員の質問に答弁された市長・執行部の答弁について述べさせていただきます。今後も機会を作り、多くの市民の方々と共に傍聴したいと思っています。

最後に、住みよい大田原市の街づくりに、市長をはじめ議員、市執行部の方々のさらなる活躍を期待いたします。